

政府又ハ官吏ノ過失ニ因リ人民損害ヲ被リレバ
人民ヨリ其損害ノ償ヲ政府一請求スル権理

1650

寧



114
A 2540



政府又ハ官吏ノ過失ニ因リ人民損害ヲ被リシハ
氏ヨリ其損害ノ償ヲ政府ニ請ホスル権理

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

凡ソ英國ノ法律工ニ於テ其臣民損害ニ罹リ之レカ償ヲ國王(即
府政)ニ請ホセント欲スルモ政府自ナラ之レヲ許スニアラサレハ
政府ニ對シテ公然償ヲ請ホスルコトヲ得サルモノトス
常ニ立法官ノ政府若クハ内閣ノ一名ニ對シ或ハ時宜ニ依リ許
可スルコトアリ譬ハ印度ノ司政ノ例ノ如キ則チ是ナリ請フ之レ
ノ迹ヘン¹ ヴカトリ² ヲ即位二十一年英ニ二十二年制定律第百
六篇第六十五章³ バ⁴ ア⁵ リ⁶ ア⁷ ノ⁸ シ⁹ (英國議院) 定例ニ云ク印
度ノ司政ニ對シ印度ハ勿論英國ニ於テモ出訴スルコトヲ得ヘ
シ

大正十一年四月

然リト虽此豫ノ斯ル定例ノ設ケ之レナキ時ニ於テハ法律上並
テ制定ノ手續ニ照準レ出訴スヘキノ特許ヲ要ホレ許可ヲ得サ
ルヘカラス右手続ハゴクトリヤ即位二十二年元ニ廿三年制定
律第三十四篇ニ掲載スル所ニ係リ簡短ニ之レヲ述レハ即チ左
ノ如シ
凡ソ損害ヲ被リタル臣民ハ何ゾノ損害ニ罹リテ救助ヲ乞フヤ
須ラク其事實ヲ載セタル政府ノ願届ヲ内務卿ニ差出レ置キ
内卿ノ考案ニ供スルモノトス之レヲ「マナシ」シ、オフ、ライ、ト
云フ
内務卿若レ此願ノ趣ヲ許可セサルヘカラワルモノト決定スル
ハ左ノ教言ヲ以テ政府ニ代リテ一篇ノ指令ヲ為スモノトス其
文ニ云ク「レフト、ライ、ト、ビ、ド、ー、ン」出訴ノ權アリト然レバ此指
令文ヲ以テ該願人が自今以後償ヲ受クヘキノ權ヲ得レモノト

見做スヘカラス此指令文ハ只此者ニ償ヲ受ケンカ為ノニ証跡
顯然タル訴訟ヲ為レタルト政府ハ好シテ此訴訟ヲ自己ト其
臣トノ間ニ法庭ニ於テ吟味ヲ受ケサルヘカラスト為レ此者ニ
償ヲ付與スルトセサルトハ法庭ニ於テ法律ト其訴訟ノ曲直如
何ニ依リ判決スル所ニ因テ行フモノトス但レ此訴訟ハ二三ノ
種ヲ除ク外（此ボハ只英國裁判上ノ処分ニ係ルノ件故茲ニ
詳記スルヲ要セス）恰モ人民相互ニノ間ニ起ルモノ、如ク処
分セラル、ナリニ三ノ種トハ何ゾヤ云々後令ニ該願人ノ方ニ
理アルモノト裁決セラル、モ尚ホ公然ト裁判上ノ処分ヲ經テ
裁判通リ實施セラレントテ政府ニ迫マルノ權ヲ有セタルト是
ナリ（人民相互ニノ間ニ起ル相對ノ訴訟アレハ此權ヲ有ス）
蓋シ官吏カ斯ル裁判ヲ受クルハ國王ノ官職ヲ汚スモノナリ是
ニ又詳記スルヲ要セラルト明ラナリ

然リトモ法廷ヨリ該願人ノ押渡スヘキ旨ヲ申渡ス金額ヲ出
納官吏ハ該願人ニ辨フヘキ特別ノ箇條アリトス
以上周詳ナル所ハ人民カ政府ニ對スル請求ニ付吟味ヲ得ンカ
為メニ須テ履行^スヘキ手續ト方法トニ係ルヲ以テ令之レニ
次クノ問題ハ諸請求ノ中如何ナル性質ノモノヲ法廷ニ於テ受
理スルカヲ左ニ論述セン

之レヲ概テ例言スルニ政府ニ對スルノ請求ハ其請求タル凡ソ
何人ニテモ政府ノ委任ヲ受ケ政府ノ為メニ其職ヲ奉スル者ガ
破約ノヲ行ヒレヨリ起ルモノナルハ法廷ニ於テ之レヲ受
理スルモノトス若シ其請求タル更ニ條約ニ關係ナキトシレテ
當過失エヨリ起ルモノナルハ法廷ニ於テ之レヲ受理セザル
モノトス取リモ直ク法廷ニ於テハ條約エヨリ起ル所ノ訴訟
ナレハ其曲直ヲ調査弁別シ其如何ニ依テ裁決ヲ下スモノナリ

是ヲ以テ若シ其訴訟タル政府ノ為メニ取結ムタル何ボノ條約
ニ關係之レナクシテ全ク過失エヨリ起リ更ニ條約上ニ關係
之レナク判然タルハ法廷ニ於テハ(假令ニ斯ル訴訟ヲ法廷
ニ持出ス為メ内務卿ニ於テハ之レヲ受理セルトモ)其訴訟ヲ
裁断スルヲ拒ルモノトス但シ此際法廷ニ於テハ該願人ニ告
ルニ該願人ハ當過失エ而已ノ事ニ關シテハ政府ニ對テ請求ス
ルヲ得ザルハ勿論尚ホ之レヲ法廷ニ出レテ吟味ヲ乞フノ權理
ヲ有セザルヲ以テス

是ヲ以テ若シ政府ノ官吏カ過失ヲ犯スバハ法律上ニ於テ之レ
ヲ左ノ如ク定ム凡ソ政府ノ官吏タル者過失ヲ犯セシ場ニ於テ

大義
八首

ハ政府ノ官吏ニアラスレテ却テ政府ノ所好ト命令トニ違背シ
テ權道ヲ働キタル者タリ故ニ其責ハ政府ニアラスレテ獨リ其
官吏タル者ニアリテ官吏ハ之レカ為メニ損害ヲ受ケタル人々
一對レ自カラ責ニ任スヘキモノトス
故ヲ以テ政府ハ其官吏不正ノ所行ヲ為セシヨリ損害ニ罹リレ
モノナルモ其責ニ任セサルモノトス存レク又長官タル者ハ其
屬官ノボ闕居レクハ過誤ヨリ損害ヲ被ムルモノアルモ責ナキ
モノタリ
假令如何ナル位階ノ級ノ官吏タリト雖モ其職ヲ尽クシテ主
務ヲ誤リ若クハ之レヲ尽クサズレテ主務ヲボ闕ニシタルヨリ
レテ人氏損害ヲ被ムルハ犯則ノ官吏獨リ自カラ其責ニ任レ
大他一人モ責ヲ有スルモノナレ(尤モ斯ル場合ニ於ケル持列
ノ損害法ヲ豫メ法律上ニ於テ定メアルハ此限ニテラス注々

英國ニハ此事アリテ獨リ損害法ヲ行フナリ)
尤モ裁判官丈ハ此規則外ノモノタリ凡ソ裁判官タル者ハ其裁
判事務施行ノ際事務ニ不熟練ナルカ若シクハ之レヲボ闕ニシ
タルヨリ損害ヲ生セシトモ其責ニ任セサルモノトス然リト雖
モ若シ裁判官タル者詭詐若クハ惡意ヲ用ヒテ所為ヲ働クカ或
モハ又或ル場合ニ於テ差シ裁判官タル者其推展ヲ越ヘタルハ
而已ハ此限ニテラス
以上開陳スル所ハ此主旨ニ付現ニ英國ニ行ハルハ法律ニ係
ル
拙者訊問ヲ奉フセシ件々尚ホ前文ニ尽クワ、ル所ノモノサナ
カラス依テ尚ホ左ニ論及セン
余ヲ以テ之レヲ觀ルニ凡ソ人民ノ被ムリタル損害ノ高ハ假令
モ巨額ナルニモセヨ小額ナルニモセヨ何レノ道法律上ノ責任

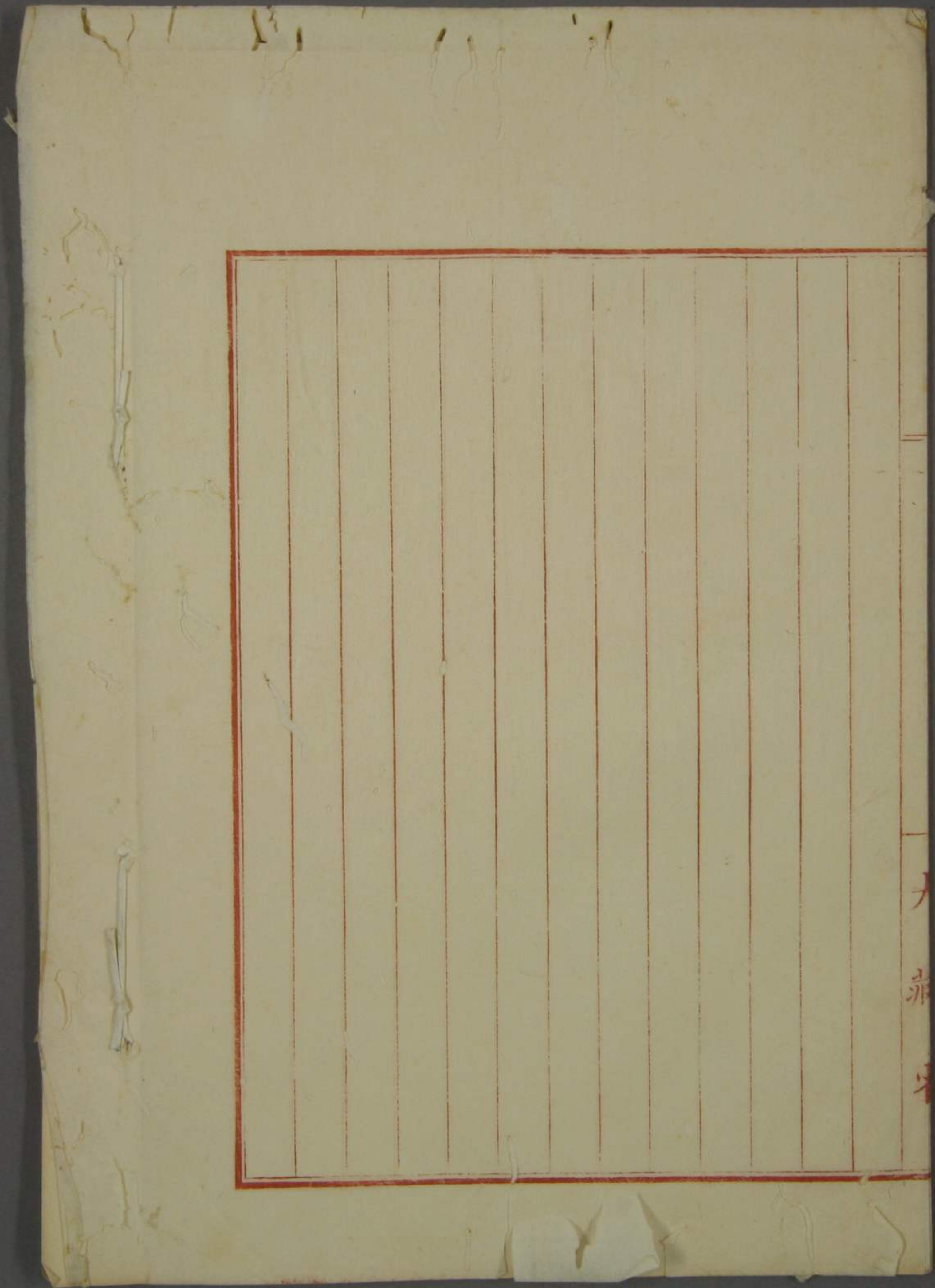
ニハ変更之レナキモノタリ故ニ若シ官吏自カラ償フヲ得ル
ヨリ巨額ノ金額ヲ償フヘキ責ヲ有スルハハ損害ヲ被ルリタル
者ハ其損失ハ即チ其人ニ歸セリルヘカラスエハ恰モ其官吏ノ
ル官途ニ就ナリル一私人メリレテハ損害ヲ被リタル者即チ自
カラ損失ヲ受タルト同一ナリ
抑モ官廳ニ於テ其官吏ニ償金ヲ出サレムルカ若シハ償金ノ
高官吏自カラ償フヲ得ルニ余ルモノト虽レ之レニ應ズル丈
ノ金額ヲ官吏ニ付共スルカ否ヤハ官廳ノ処ト曰ムモノタリ
(或ハ場合ニ於テハ之レヲ付共セムル方至キナルコトアルヘシ)
然ルニ之レニ及レラ一官吏ニレテ自カラ責任アル者ハ若シ過
誤上ヨリ人民ニ損害ヲ被ラレムル時ハ職ヲ免ズルカ或ハ又
其出仕ノ官廳ニ於テ罰ヲ加フルモノトス
凡ソ官吏ト其出仕ノ官廳トノ間ノ關係ハ當ニ法律上ニ依リテ

而已取扱ハサルベシ是レヲ以テ犯則ノ官吏ヲ其出仕ノ官廳ニ
於テ懲罰ニ処スルノ外尚長官ハ之ヲ自カラ損害ヲ償ハサレム
ル事ヲ許ルルノ權アリトス(尤モ官吏ヲレテ損害
ヲ償ハサレムルノ如キハ非常ノ処置ナリト余ハ信スルナリ)
但レ長官此如何ヲ決ムルハ宜レク彼此ヲ参酌シ深ク思慮セザ
ルベカラス令其一ヲ掲レハ罪ノ淺深ト損害ヲ被ルリタル者ニ
償金ヲ出スト否ヲサルトニ應レ加フルニ懲罰ノ輕重ヲ以テス
ベレ(長官ノ決ニ依リテハ損害ヲ被ルリタル者間々償金ヲ受ケ
サルコトアリ)法律上ニ於テハ官吏過誤ヲナセハ該官吏ヲレテ
之レカ為ノ損害ヲ被ルリタル者ト法律上ノ必分トヲ以テ該官
吏ノカノ及フ丈ケ即チ該官吏ノ金力ニ應ズル丈其損害ヲ償ハ
サレムルヲ得ヘレ故令ニ損害ヲ被ルリタル者ニセヨ政府ニ
セヨ此外尚該官吏ノ無能ニ付テハ該官吏ノ懲罰其他ノ事ニ

処スルヲ得ス(仮令ニ該官吏ノ初^{オラガ}終^スノ過^ト誤^ハ即^チ過^シ失^スハ政府之
レヲ罰スル論ヲ誤^クトス^ル也^ト)

以上全カ論及ムル所ハ過^ト誤^ハ即^チ過^シ失^スエノ事ニ止^マリテ此^ノノ
ト^ク罪^ト惡^ムナルモノニ及^ズエ^ル、ル所ニ係^ル何^トナ^レハ官吏若^シレ
罪^ト惡^ムボ^ラ犯^スニ至^ラハ無論^ニ刑^ノ律^ノ處^分ニ付^シ之^レニ目^テ以^テ懲
罰^スラ^ル、モノナ^レハナ^リ)

ロベルト・ヒードン



大
鼎